

経営学部 リフレクションペーパー

2016年度 <前期>

教員氏名 大内 秀二郎
担当授業科目名 商学A (火曜5限), 流通システム論I (水曜2限・水曜3限・木曜6限の3クラス開講)
1. アンケート結果に対する総評 流通システム論I (水2クラス8.3, 水3クラス8.1, 木6限クラス9.0) については、昨年度 (水6クラス8.8, 金3クラス8.1) と同様の評価であった。自由記述欄においては「分かりやすい」、「授業内容に興味を持つことができた」などの好意的なコメントが多かったが、「図がきたなくて」、「図で説明してくれるのは分かりやすいが、消して描いてをくりかえすのでノートをどうとったらいのか困る」など、説明内容を図示する際の工夫が不十分であることを指摘する意見もあった。なお、例年は私語の多さについての不満が散見されるが、今回は「クラスがうるさい時に注意してもらえるのはありがたい」、「私語が多いときの生徒への接し方もよく、とてもいい授業雰囲気」などのコメントも見られた。 商学A (8.3) は昨年度と全く同じ評価であった。「スマホで投票するなど楽しんで受講できる」、「みんなで授業を受けている感じがする」というように、スマートフォンを活用したクリッカー・システムの導入を評価するコメントが多く見られた。また、「毎時間資料の映像が用意されていてとても理解しやすい」、「ビデオを観ることで、頭で想像するだけでなく現実的にイメージできた」など、映像資料を多く取り入れたことに対しても高い評価が得られた。一方で、「プリントの資料が若干見にくい」、「レジュメがややこしすぎる」、「レジュメの順番が分かりづらかったり、書き込みづらいことがあった」、などのコメントが散見され、配布レジュメに改善の余地があることが分かった。 (※ カッコ内は各科目の10点法による評価の平均値)
2. 授業を行う上で工夫した点, 良かった点 流通システム論Iでは、新聞記事や映像などの資料も交えながら、理論と実践の両面から流通の全体像を理解できるように心がけた。商学Aについては、昨年度から授業のスタイルを大きく変えた。スマートフォンを活用したクリッカー・システムを導入して受講者の能動的な学習姿勢を促すとともに、映像資料を多く取り入れて実社会における商業現象に対する関心の喚起を図っている。上述の通り、これらの工夫は一定の成果を挙げているものと捉えている。
3. 今後の改善点 流通システム論Iでは、説明内容をより分かりやすく図で示す努力をしたい。商学Aでは、配布レジュメをなるべく簡潔にまとめるよう改訂したい。また、いずれの講義においても、授業時間外の学習が非常に少ないことがアンケートから示されているので、予習・復習を促すための課題提示などを図りたい。